University
Consortium
Ishikawa

もっと使える

「大学コンソーシアム石川」

加盟高等教育機関教職員向け利用ガイド

Contents

はじめに ── 大学コンソーシアム石川は変わった ―― 1

1. 大学コンソーシアム石川の概要 ―― 2

2. e教育支援センターとUCIポータル ―― 3
UCIポータルのeラーニングシステムが使えます 4
アドレスがわからなくても学生にメール連絡ができます 6
学生にイベント情報・就職情報などを提供できます 7
共通教材が使えます――教材データベースとDVD教材 8
学生向け講習会に利用できます 10
－交通安全教育・薬物問題教育・消費者教育・環境教育など－
入学前教育・補習教育に利用できます 12
留学生の渡日前教育・生活指導に利用できます 13
クリッカー（大教室授業等の応答システム）を貸出します 14
自動録画装置を貸出します 16
シティカレッジの授業をサポートします－パソコンも貸出します 17
いしかわ教育者人材データベース――退職者・院生などは登録を 18
いしかわ教育者人材データベース――人材探しに利用できます 19

3. しいのき迎賓館セミナー室と四高記念文化交流館多目的利用室 ―― 20
――大学コンソーシアム石川を通じて借りるとお得です

4. FD・SD等の教職員の研修事業 ―― 23

5. 大学コンソーシアム石川がおこなう応募事業 ―― 24
地域課題研究ゼミナール事業 24
地域貢献型学生プロジェクト事業 26
まちなかキャンパス事業――文化施設利用とフィールドワーク支援 27

6. 学生たちのための事業――シティカレッジ・公開講座・その他 ―― 28
新入生はまちなかの文化施設がただになります 29
CGコンテスト 30
インターンシップ直前講座／学生・企業まちなかサロン 31

はじめに――
大学コンソーシアム石川は変わった

平成22年度は、大学コンソーシアム石川にとって大きな変化の年でした。4月には、いままでの県広坂庁舎から石川県政記念しいのき迎賓館に移転をし、7月には、一般社団法人となって新たなスタートを切りました。

こうした変化とともに、ハード・ソフトの両面で、さまざまな設備やしくみが整備されていきましたが、その裏付けとなったのが、平成20年度に文部科学省戦略的大学連携支援事業（略称、戦略GP）に採択された「大学コンソーシアム石川を中心とした共通の教養教育機関とICT教育支援体制の構築」（代表校：金沢大学、平成20～22年度）でした。この戦略GP採択事業は、3年間に、大学コンソーシアム石川加盟高等教育機関及びその教職員が共通で使用できるさまざまなものが導入しましたが、それを利用している機関・教職員はまだ限定されており、せっかくの設備やしくみが、まだ十分に活かされているとはいえない状態にあります。

そこで、戦略GP採択事業を終了するに当たり、その成果として導入したさまざまな設備・しくみを、加盟高等教育機関の教職員の皆さんに広く知っていただきたいと考え、ここに『もっと使える「大学コンソーシアム石川」－加盟高等教育機関教職員向け利用ガイド』を作成した次第です。ここには、従来から大学コンソーシアム石川が行ってきた業務なども入れ、大学コンソーシアム石川利用の総合ガイドとなるようにしました。

この冊子を手に取られた皆様には、ぜひご一読いただき、大学コンソーシアム石川のさらなる利用をお考えいただければと思う次第です。

平成23年2月

大学コンソーシアム石川教務学生専門部会長
戦略GP支援企画委員会委員長
古畑　徹

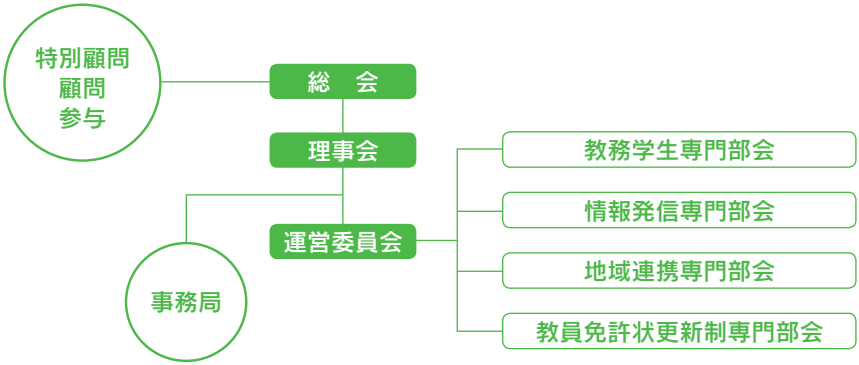
1 大学コンソーシアム石川の概要

大学コンソーシアム石川（略称はUCI）は、石川県内全20の高等教育機関（大学、短期大学、高等専門学校）が連携して、教育交流・情報発信・調査研究等を行い、高等教育の充実・発展及び地域社会の学術・文化・産業の発展に寄与することを目的として、平成18年4月1日に設立されました。平成22年7月1日には、事業の充実と地域社会の連携を促進するため、「一般社団法人 大学コンソーシアム石川」として新たなスタートを切りました。

その設立の背景には、石川県は、人口当たりの高等教育機関数が全国2位、学生数が全国5位で、高等教育機関の集積が高いという利点を持っており、大学間の競争激化という状況に対し、この利点を活かして県内高等教育機関が相互に連携し、地域全体としての魅力を向上させて対応しようという考え方があります。特に、金沢まちなかキャンパス構想にそれが端的に出ており、金沢市の中心部を共通のキャンパスとし、大学が行う活動を拡大させ、学都としての魅力化につなげようとしています。

また、大学コンソーシアム石川は、大学と地域との連携による地域の活性化を仲介する役割を担うものとして期待されております。それゆえに、高等教育機関だけでなく、県内のすべての自治体、12の経済団体、1つの国際機関が加盟しています。

■ 組織図（平成22年度）



2 e教育支援センターとUCIポータル

大学コンソーシアム石川では、シティカレッジ授業でICT教育を実施することなどを目的に、平成21年度に「**UCIポータル**」を導入しました。「UCIポータル」は、LMS（学習管理システム）を搭載しており、eラーニングが実施できるほか、受講生への情報伝達や受講生間のコミュニケーションなどにも利用できます。他にも多数の機能を持っています。この「UCIポータル」は、シティカレッジの受講生ばかりでなく、**大学コンソーシアム石川加盟機関の教職員・学生ならば、誰でもIDとパスワードを発行してもらい、利用することができます。**

UCIポータル URL　https://ucon-i.jp

ICT教育を実施するためには、システムを導入するだけでなく、それを管理・運営し、教職員・学生などに対するサポートを行う組織が必要となります。そのために、大学コンソーシアム石川事務局内に設置されたのが、**e教育支援センター**です。センターには、eラーニング専門家の資格である「eLPベーシック資格」を持ったスタッフが常駐し、様々なサポートに対応してくれます（平成22年度末現在）。また、e教育支援センターでは、テレビ会議システム、人材データベース等の管理・運営や機材の貸出なども行います。

以下、具体的に、UCIポータルの機能やe教育支援センターがサポートする内容などを紹介します。なお、e教育支援センターの連絡先は下記のとおりです。

電　話　076-223-1633

アドレス　e-support@ucon-i.jp

UCIポータルのeラーニングシステムが使えます

UCIポータルには、**LMS（学習管理システム）としてMoodleが搭載**されています。シティカレッジのすべての授業は、LMSが利用できるようになっています。

また、各高等教育機関の授業でも、UCIポータルに授業を登録すれば、LMSの利用は可能です。利用を希望される場合は、e教育支援センターにご連絡ください。

以下、シティカレッジ授業の場合を例に、LMSの主な機能を紹介します。

【LMSへの入り方】

UCIポータルにログインすると、シティカレッジ授業の時間割画面が出てきます。時間割には、担当する授業が既に登録されていますので、授業名をクリックすれば、LMSに入れます。

【教材の閲覧】

LMSの画面から、視聴・閲覧したい教材をクリックすると、その形式に応じて再生・ダウンロードが始まります。

【課題回収】

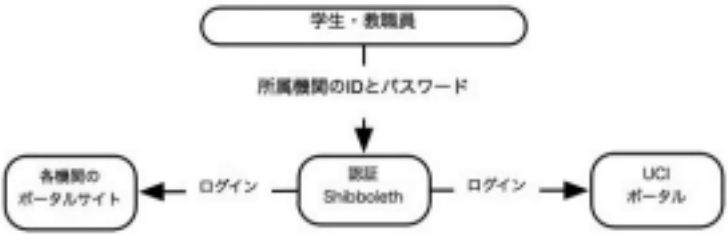
アップロードフォームを作成して、レポート課題を提出させることも出来ます。教員のメールボックスを圧迫することがありません。

【テストの実施】

多岐選択、穴埋め、記述などといった形式で、テストを実施することができます。制限時間も設定可能です。
課題とテストは、教員専用の画面で採点結果を一覧表示することも可能です。

UCIポータルは各高等教育機関の認証システムとの連携が可能

UCIポータルは、Shibboleth（シボレス）による認証に対応しています。Shibbolethは、機関の垣根を越えた認証連携を実現するためのシステムです。各高等教育機関でもShibboleth認証を導入することで、1つのIDとパスワードを用いて、各高等教育機関独自のWebサービスと、UCIポータルの全てのサービスを利用することが可能になります。



アドレスがわからなくても学生にメール連絡ができます

UCIポータルは、はじめて使用するときに、必ず連絡先のメールアドレスを登録することになっています。UCIポータルの**メッセージ機能**を使うと、送られたメッセージは、その連絡先にも送られます。そのため、教職員としては、連絡したい学生のメールアドレスを知らなくても、その学生への連絡が可能です。

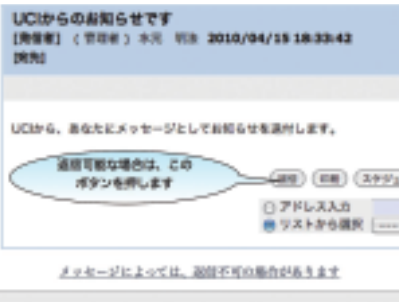
登録するメールアドレスは、原則、携帯のアドレスです。現在の学生はほぼすべて携帯を持っていますので、メッセージ機能を使えば、学生にほぼ確実に連絡できます。

【メッセージの読み方】

新着メッセージは、UCIポータルにログインした直後の画面に表示されていて、クリックすると本文を表示できます。

【メッセージへの返信】

学生は基本的に自分からメッセージを送信できませんが、(許可されている場合のみ)返信は可能です。

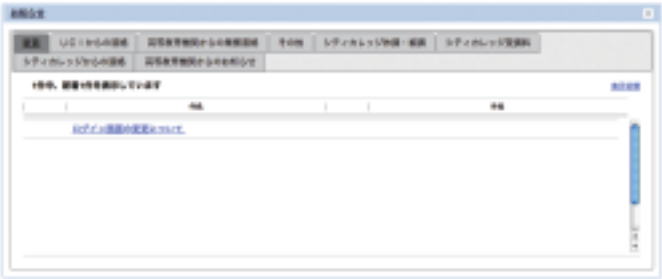


学生にイベント情報・就職情報などを提供できます

UCIポータルには「**お知らせ**」機能がついています。これによって、学生にさまざまな情報を提供することができます。

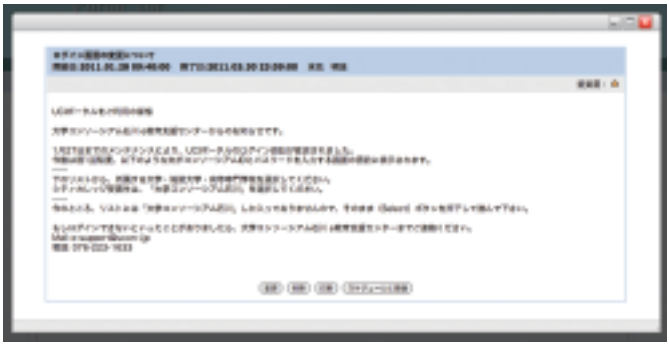
「お知らせ」機能は、加盟高等教育機関の教職員ならば、だれでも利用できます。また、自治体や加盟企業団体、あるいはその傘下の企業ならば、利用可能にすることができます。加盟高等教育機関の教職員以外で利用を希望される場合は、e教育支援センターにご連絡ください。

UCIポータルにログインすると、最上段に表示されます。



カテゴリごとに表示するようにも切り替え可能です。

件名をクリックすると、お知らせ本文を表示できます。



お知らせは、見せる相手を細かく設定できるので、たとえば関係者のみ、全体、個別の部署、組織のみといった制限ができます。これによって、異なる機関が同時にUCIポータルを利用していたとしても、問題なくお知らせ機能の運用が可能になります。

共通教材が使えます――教材データベースとＤＶＤ教材

戦略GP採択事業では、多数のビデオコンテンツを作成しました。それらはUCIポータルの**教材データベース**に載せたり、DVDにして貸し出したりすることができるようになっています。

教材データベースは、UCIポータルに「教材データベース」と書かれたタブがあるので、これをクリックすれば、共同利用可能な教材が出てきます。また、自分が作成した教材を、ここに載せることもできます。

【教材データベーストップページ】

教材データベースのトップページでは、新着情報やコミュニティ（教材のデータ、解説、コメント付与などが可能です）のリスト、画像・ファイル一覧へのアクセスができます。

【コミュニティ一覧】

自分でアップロードした教材、他の人が作った教材は、それぞれ「コミュニティ」として登録されています。教材は、「利用者全員に公開する」ことも出来ますし、「コミュニティに所属する人のみに公開する」ことも可能です。

【ファイル一覧】

アップロードされた教材を、一覧表示することが出来ます。直接ダウンロードも可能です。

共同利用可能な主なコンテンツ

【「大学・社会生活論」授業用コンテンツ】（教材DB・DVD）
・大学における学習方法（日本語・英語・中国語）
・レポートの書き方（文系向け／理系向け）（日本語・英語・中国語）
・環境問題の基礎（ゴミ問題）／環境問題の基礎（廃水問題）
・ハラスメント（日本語・英語・中国語）
・消費者被害に遭わないために（日本語・英語・中国語）
・薬物乱用問題を知ろう（日本語・英語・中国語）
・タバコの害／熱中症／食事バランスと健康（日本語・英語・中国語）

【日本の大学への留学を考えている皆様へ～石川県で学んでみませんか～】
（日本語・英語・中国語、DVDおよび大学コンソーシアム石川HPに掲載）

【外国人留学生　生活オリエンテーション　～楽しい留学生活をおくるために～】
（日本語・英語、DVD）

【石川HERITEGE 21世紀のキーワード『生物の多様性』-biodiversity】（DVD）
・vol.1 豊かな自然と人のつながり　－生物多様性の恵み－
・vol.2 豊潤の里山の未来　-SATOYAMA-
・vol.3 美しい里海の未来　-SATOUMI-
・vol.4 山と海をつなぐ心　―里山・里海の精神性―

【大学生の交通マナー】（教材DB）
【身のまわりの化学】（教材DB・DVD）
・物質とは何か／視覚と物質／味覚と物質　ほか
【調理の科学】（教材DB・DVD）
・食品の調理（各種食材）／おいしさの科学／調理操作／調理器具と調理システム／食事計画／日本料理の献立　など

ほかにも、利用可能なビデオコンテンツはあります。また、冊子の教材もあります。

DVDは、e教育支援センターにお申し出いただければ、貸出します。
また、戦略GPで作成し著作権が大学コンソーシアム石川にあるコンテンツで、配布用に作成したものには、在庫がある場合があります。このようなコンテンツは、加盟高等教育機関及びその教職員ならば、必要に応じてお渡しできます。また、在庫がない場合には、ダビングしてお渡しすることもできます。詳しくは、e教育支援センターにお尋ねください。

学生向け講習会に利用できます
－交通安全教育・薬物問題教育・消費者教育・環境教育など－

大学コンソーシアム石川で用意した教材の中には、学生の講習会で利用できるものが多数あります。

○交通安全講習用教材（UCIポータル搭載）

「大学生の交通マナー」は、普通自動車免許取得のためのトレーニング教材「ワクワクドライブ」の、石川県の大学生向けバージョンです。

メイン動画コンテンツ（直近の事故記事、事故映像、大学生の傾向・責任、安全運転の原則）のほかにも、危険予知トレーニングやレジュメ資料がついています。学生を集めた交通安全講習会や自動車通学許可のための講習会などで映像を映してご利用することもできますし、学生に自己学習させることもできます。

なお、通常のワクワクドライブの大学生向け教材のDVDもあります。各高等教育機関にはすでに配布済みですが、UCIにも置いてあり、貸出可能です。

○薬物問題教育・消費者教育・環境教育などの教材（教材DB・DVD）

「大学・社会生活論」の授業で使用している各種ビデオコンテンツは、授業以外にもさまざまな学生向け講習会で使用できます。

◀「薬物乱用問題を知ろう」の一画面

「消費者被害に遭わないために」▶は県消費生活支援センターの協力のもとで作成されたものです

◀「環境問題の基礎（ゴミ問題）」は金沢市環境局の協力のもとで作成されたものです。

「熱中症」は、夏前に運動部の学生▶リーダーをあつめて講習を行うと効果的です。

入学前教育・補習教育に利用できます

UCIポータルのIDとパスワードは、加盟高等教育機関から要望があれば、入学前の入試合格者に対して発行することが可能です。

LMSを利用して、入学前の学生に教材を学習させることや、レポートを提出させること、あるいは「大学における学習法」などのビデオコンテンツを視聴させることもできます。

詳しくは、e教育支援センターにご相談ください。

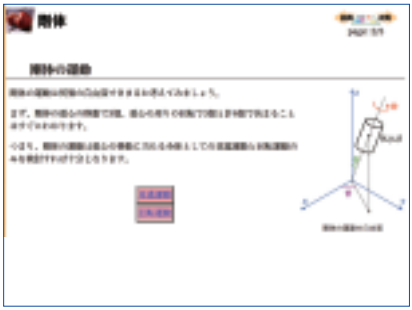
LMSには、物理学の補修用教材『物理学のエッセンス』から抜粋された「力学」と、数学の補習用教材『もう一度数学』（内容は、高校の数学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，B，C，を再学習させるものです）を載せてあります。

入学した学生の学力が十分ではないと判断された場合には、UCIポータルにアクセスさせて、この教材を学習させることができます。

【もう一度数学】

【もう一度数学—問題集】

【物理学のエッセンス】



留学生の渡日前教育・生活指導に利用できます

UCIポータルのIDとパスワードは、加盟高等教育機関から要望があれば、渡日前の留学生に対しても発行することが可能です。これにより、LMSを利用して、渡日前の留学生に教材を学習させることや、レポートを提出させることもできます。

利用できるコンテンツとしては、留学生向けに作られたものもありますが、それ以外に「大学・社会生活論」の各種ビデオコンテンツには英語版・中国語版があります。これらは、渡日後の留学生の学習指導・生活指導にも利用できます。

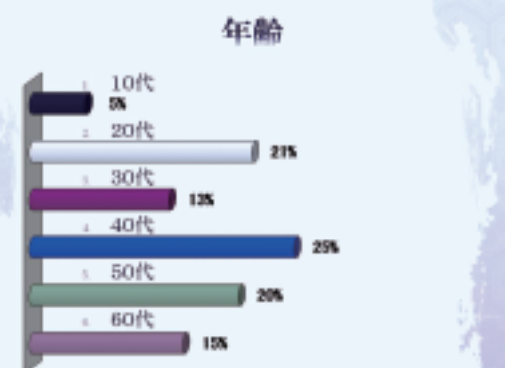
クリッカー（大教室授業等の応答システム）を貸出します

クリッカーとは、オーディエンス・レスポンス・システム（ARS）、すなわち「講義者と学習者の双方向コミュニケーションを可能にするコミュニケーションツール」の１つです。学生がテレビリモコンのようなカード端末（レスポンスカード）のボタンを押すと、回答結果が集計されてリアルタイムにパソコンの画面上に表示されるというシステムです。アメリカなどでは、大学における大人数の講義などにおいてかなり普及しています。

大学コンソーシアム石川には、３４０台のレスポンスカードと、４台の受信機が用意されています。ご希望があれば、授業や講演会・セミナーへの単発の貸し出しだけでなく、１学期間にわたる長期の貸し出しにも対応します。

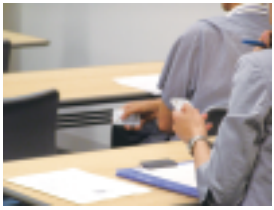
クリッカーの貸し出しを希望する方は、大学コンソーシアム石川のホームページから、施設情報＞機材の貸し出しへとすすみ、「貸出許可申請フォーム」で申し込んでください。

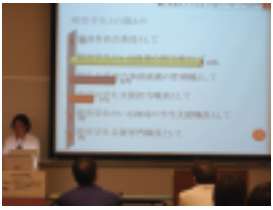
詳しくは、e教育支援センターにご相談ください



◀回答を集計

クリッカーを使った授業風景





●クリッカーの使い方

【必要なもの】

Windows PC、PowerPoint 2007（または2003）、受信機　1個、受講者数ぶんの送信機、TurningPoint 2008（PowerPointの拡張機能として無償ダウンロード可能）

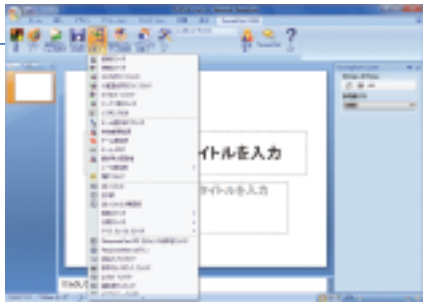
【事前準備】

1. TurningPoint2008をメーカーサイトからダウンロードし、自分のPCにインストールします。

2. TurningPoint2008を使って、集計機能を付与したPowerPointスライドを作成します。すでに多岐選択問題のひな形が登録されていますので、通常のスライドを編集する操作とほとんどかわりません。

3. 受信機を自分のPCにつなぎ、ドライバをセットアップします。

4. 送信機を配布して、準備完了です。



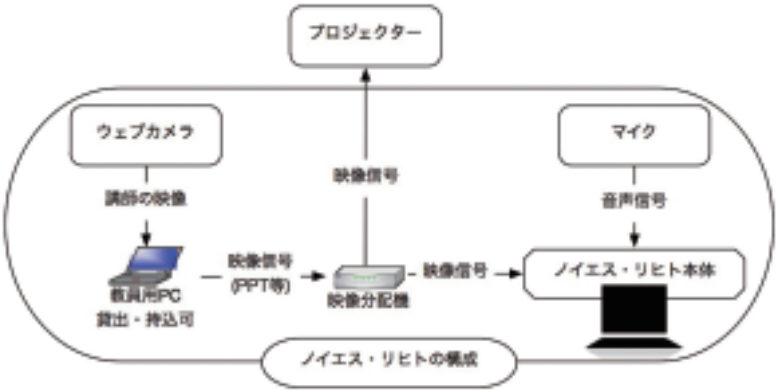
自分のPCへのセットアップ補助、スライドの作成方法のチュートリアル、使い方のデモンストレーションを、e教育支援センターで行っています。詳しくは、担当者までお問い合わせ下さい。

自動録画装置を貸出します

大学コンソーシアム石川のセミナー室Bには、自動録画装置が備え付けられ、授業をそのまま録画することができます。録画した授業は、e教育支援センターで編集を行ったうえで、UCIポータルを使って、その授業の受講者に対して復習用などとして配信しています。

このほかに、録画する必要のある授業が同時間に重なった場合を想定して、移動用の**自動録画装置「ノイエス・リヒト」**も用意されています。これは、使用の予定がない場合は、加盟機関及びその教職員に貸し出します。

ノイエス・リヒトは、PCからの映像出力をそのまま録画する装置です。教員のプレゼンテーション用のPCには、とくにソフトウェアをインストールする必要はなく、また負荷をかけることもありません。ノイエス・リヒトは図のような構成になっており、プロジェクタ以外の全ての機材をひとまとめにして貸し出しをしております。



シティカレッジの授業をサポートします――パソコンも貸出します

e教育支援センターは、シティカレッジの授業でさまざまな設備・機材を利用したい教員の皆さんをサポートします。

しいのき迎賓館3階のセミナールームAは、アクティブラーニング用設備が整えられ、3面のスクリーンがあります。セミナールームBには、2面スクリーンが備えられているだけでなく、**遠隔授業システム**（テレビ会議システム）や、授業の**自動録画システム**も配備されています。これらの利用にあたっては、e教育支援センターのスタッフがさまざまにサポートします。ぜひ利用してみてください。

セミナールームA・Bには無線LANが備え付けられています。ですので、学生にノートパソコンを持たせ、ネットワークを利用した授業を行うことも可能です。無線LANを利用すると、各セミナールームのプロジェクタから、無線で映像を出力することも出来ます。

大学コンソーシアム石川には、20台の貸出用ノートパソコン（Let’s note）がありますので、学生がノートパソコンを持っていないということを心配しなくても大丈夫です。このLet’s noteには、WindowsとOfficeがインストール済みです。

ノートパソコンの貸し出しを希望する方は、大学コンソーシアム石川のホームページから、施設情報＞機材の貸し出し　へとすすみ、「貸出許可申請フォーム」で申し込んでください。

このほか、e教育支援センターは、ICT教育に関係するさまざまな相談に対応します。気軽にご相談いただければと思います。

いしかわ教育者人材データベース――
退職者・院生などは登録を

「**いしかわ教育者人材データベース**」は、各高等教育機関に在職していない教育者、つまり、非常勤講師、退職教員、ポスドクなどの情報を集めたデータベースです。各高等教育機関が持っている人材データベースを補完するもので、これによって各高等教育機関が授業や各種プロジェクトで必要な人材を探しやすくするとともに、大学コンソーシアム石川に参加している県内企業・自治体等でも講演・審議会・プロジェクト等で必要な人材を探しやすくするものです。

本人材データベースに登録される人材情報は、石川県内の各高等教育機関のデータベースに登録されていない教育者人材及び教育をサポートする人材の情報です。具体的には、次の人々の情報が集積されます。

各高等教育機関の非常勤講師／各高等教育機関のポストドクター（PD）、博士課程在学者、修士課程修了者／各高等教育機関の退職教員／カウンセラー／ノートテイカー／実務経験者／元高等教育機関職員

登録希望者は、「申請フォーム 」にアクセスし、必要事項を記入して送信するか、UCIのホームページから「登録申請書 」をダウンロードして大学コンソーシアム石川e教育支援センターまで郵送をしてください。

審査のうえ、登録希望者が人材データベースにアクセスをするためのID・パスワードを大学コンソーシアム石川事務局から郵送します。

https://ucon-i.jp/Portal/u210/001_wish_talent_regist.php
http://www.ucon-i.jp/newsite/jigyou/jinzaidb/index.html

ID・パスワードを取得したら、必ず人材DBの登録情報を入力・確認をしてください。登録情報はご本人のみ入力・修正・追加をすることができます。

退職される教職員の方はぜひ登録してください。また、大学院生にも、就職のチャンスを広げますので、ぜひ登録を呼びかけてください。

いしかわ教育者人材データベース ―
人材探しに利用できます

「いしかわ教育者人材データベース」は、加盟機関・団体及び傘下の企業等が人材を探しやすくするために作られたものです。したがって、不特定の人々がアクセスできるものではありません。アクセス権は、大学コンソーシアム石川に加盟する高等教育機関機関・自治体・企業団体、及びその傘下の企業等に限定されます。

加盟高等教育機関・自治体・企業団体…無条件でアクセス権が付与されます。
企業団体傘下の企業…大学コンソーシアム石川事務局に利用申請をして
アクセス権を取得してください。

また、これらに該当しない各種学校・団体・企業で、講演・研修の講師などを探している場合には、e教育支援センターに連絡していただければ、希望に沿った人材を紹介します。

【アクセス方法】

1. UCI ホームページから、「いしかわ教育者人材データベース」ログイン画面へのボタンをクリック
2. ログインボタンを押して ID とパスワードを入力し、UCI ポータルにログイン
3. 上部メニューから、[人材データベース] をクリック
4. 登録者の場合は、自分の情報を編集する画面が表示されます。活用者の場合は、人材検索フォームが表示されます。

3 しいのき迎賓館セミナー室と四高記念文化交流館多目的利用室

――大学コンソーシアム石川を通じて借りるとお得です――

大学コンソーシアム石川がシティカレッジ授業で使用している、しいのき迎賓館3階のセミナールームA（定員42名）・セミナールームB（定員約72名）、及び隣接する四高記念文化交流館の多目的利用室（1～5．各室定員約30名）は、大学コンソーシアム石川加盟の高等教育機関およびその教職員が、**大学コンソーシアム石川事務局を介して使用申請すると、使用料が通常より安くになります。**（平成23年2月現在、学術交流推進目的に限り、10割減免です。）また、**使用申請も一般より早く、6か月前から行うことができます。**

しいのき迎賓館セミナールームを借りる場合

大学コンソーシアム石川のホームページから、施設情報＞しいのき迎賓館施設使用について とすすみ、使用上の注意事項をよく読んだうえで、「石川県政記念しいのき迎賓館施設使用承認申請書」をダウンロードし、これに必要事項を記入して、大学コンソーシアム石川事務局に申し込んでください。

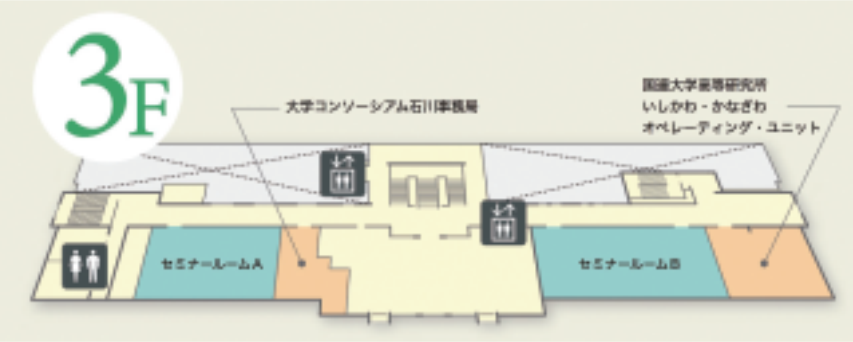
利用時間帯は、9：00～21：00（準備時間も含む）です。

四高記念文化交流館多目的利用室を借りる場合

大学コンソーシアム石川のホームページから、施設情報＞四高記念文化交流館施設使用について とすすみ、「施設利用申し込み手順」「施設利用に関しての注意」をよく読んだうえで、「施設利用承認申請書書式」をダウンロードし、これに必要事項を記入して、大学コンソーシアム石川事務局に申し込んでください。申し込み前には、必ず四高記念文化交流館に電話して（076-262-5464）、空き状況の確認と仮押さえをしてください。

利用時間帯は、9：00～21：00です。

しいのき迎賓館3階平面図



セミナールームA

セミナールームAは、アクティブラーニングに対応できるように、可動式の机・イス・3面のスクリーン、プロジェクター、ハンディタイプのホワイトボード、ボードスクリーン、無線LANなどが設置されています。グループワークや演習・実習等の授業のほか、サークル・NGO等のミーティングや発表会、ワークショップ形式の企業研修などにも最適です。

セミナールームB

セミナールームBには、テレビ会議システムが設置され、各高等教育機関の教室と結ばれています。双方向授業だけでなく、機関合同の講演会やFD研修にも利用できます。授業収録システムも整備され、ここで収録した授業・講演会等はUCIポータル等で配信できます。無線LANも整備され、講演会・会議等に向いています。

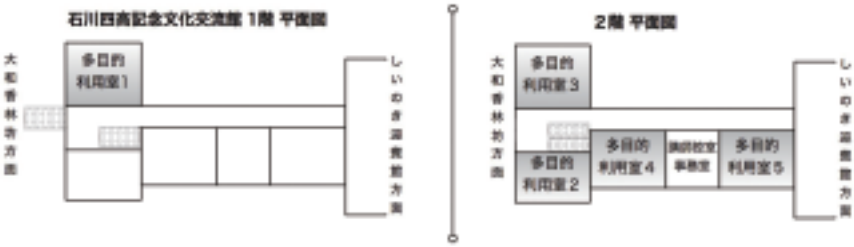
参考：しいのき迎賓館セミナールームの、大学コンソーシアム石川を介さない場合の使用料

区分		9時～12時	13時～17時	17時～21時	全日（9時～21時）
セミナールームA		3，600円	3，600円	5，400円	12，600円
区分して使用	A－1	1，200円	1，200円	1，800円	4，200円
	A－2	2，400円	2，400円	3，600円	8，400円
セミナールームB		4，800円	4，800円	7，200円	16，800円
区分して使用	B－1	2，400円	2，400円	3，600円	8，400円
	B－2	2，400円	2，400円	3，600円	8，400円

四高記念文化交流館

四高記念文化交流館は、明治時代に建てられた旧制第四高等学校本館（国指定重要文化財）を活用した「学びとふれあいの複合文化施設」です。西側は無料の「四高記念館」、東側は有料の「石川近代文学館」になっています。

四高記念文化交流館多目的利用室側平面図



※多目的利用室１はギャラリー、多目的利用室２～５はスクール形式です。また、多目的利用室５は四高時代の机・いすを復元した教室です。

参考：四高記念文化交流館多目的利用室の、大学コンソーシアム石川を介さない場合の使用料

区分	9時～12時	１３時～１７時	17時～21時	全日（9時～21時）
多目的利用室１	１，８００円	１，８００円	２，８００円	６，４００円
多目的利用室２	１，８００円	１，８００円	２，８００円	６，４００円
多目的利用室３	１，８００円	１，８００円	２，８００円	６，４００円
多目的利用室４	１，８００円	１，８００円	２，８００円	６，４００円
多目的利用室５	１，８００円	１，８００円	２，８００円	６，４００円

※冷暖房期間（7/1～8/31、12/1～3/31）及び使用者が料金を徴する場合の使用料は規定料金の3割増。

4 FD・SD等の教職員の研修事業

戦略GP採択事業では、3年間で20回以上の、加盟機関合同の教職員研修事業を実施しました。ニーズも多く、成果も上がりましたので、戦略GP後も継続的に実施することになっています。（平成23年度に、どのような体制と計画で実施するかは、平成23年2月時点では未定です。）

現在のところ、「短期大学FDフォーラム」、「大学コンソーシアムSD研修会フォーラム」などは実施予定です。開催日程が決まりましたら、大学コンソーシアム石川よりの案内メールがあります。案内メールは、多くの場合、各機関の学務等を介して転送されます。また、大学コンソーシアム石川のホームページにも掲載されます。ぜひご参加ください。

過去の主なFD・SD等研修事業の開催実績

○平成20年度大学コンソーシアム石川FD研修会（参加者101名）
平成20年8月30日／田中毎実「FDと大学等の地域連携」ほか

○平成21年度大学コンソーシアム石川FDフォーラム（参加者103名）
平成21年10月17日／テーマ「学士力育成と教育の質保証を目指して」

○平成21年度大学コンソーシアム石川SDフォーラム（参加者107名）
平成21年12月19日／テーマ「地域に貢献できる大学づくりと職員育成

○平成21年度短期大学合同FDシンポジウム（参加者40名）
平成22年3月1日／テーマ「短期大学における導入教育・リメディアル教育の問題」

○平成22年度短期大学FDフォーラム（参加者37名）
平成22年9月14日／テーマ「短期大学のキャリア教育等について」

○平成22年度大学コンソーシアム石川FDフォーラム（参加者61名）
平成22年10月9日／テーマ「初年次教育とカリキュラムポリシー」

○大学コンソーシアム石川SD研修会フォーラム2010（参加者73名）
平成22年12月4日／秦啓治「SDの必要性とその期待」　ほか

※FD・SD等研修を遠隔授業システム（テレビ会議システム）で配信することもできます。

5 大学コンソーシアム石川がおこなう応募事業

大学コンソーシアム石川には、加盟高等教育機関の教職員・学生から募集する様々な事業があります。

毎年度、春に応募要項が発表され、各高等教育機関の学務等を介して、教職員・学生の皆さんに要項が配布もしくは公表されます。注意して案内メールなどをチェックしてみてください。

地域課題研究ゼミナール事業（石川県委託事業）

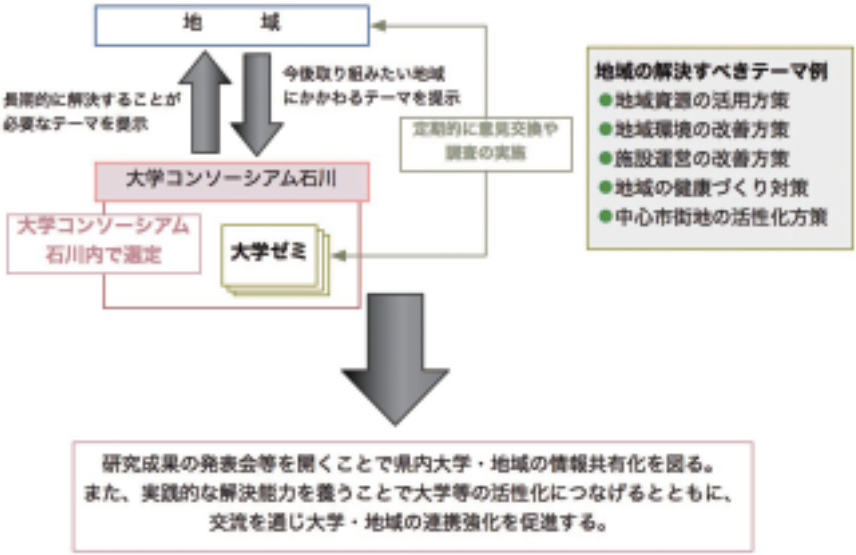
本事業は、県内の大学等のゼミナールが，地域から提案された，又は自ら提案する地域課題について，当該地域と一体となって取組み，その解決策の提言や地域と共同で実践研究することにより，高等教育の活性化及び地域との交流の拡大を図ることを目的としたものです。

応募対象は、加盟高等教育機関のゼミナールで、地域（市町のほか、商工会などの各種団体、NPO法人など）から提案された課題に応募する、もしくは自ら課題を提案して応募します。応募してきたゼミナールのなかから、大学コンソーシアム石川の地域連携専門部会が審査・選定します。応募の時期は3月下旬～4月下旬、選定・採択の時期は5月下旬です。

選定されたゼミは当該地域等との意見交換や調査等を通じ課題解決の提言をまとめます。実践的な問題解決能力を養う場とすることで、高等教育の活性化を図ります。複数のゼミを選定し、政策を競うこととし、地域等と各大学の交流の機会とするとともに、大学を各地域の抱える長期的課題の解決のためのシンクタンクとして活用します。

成果は報告書にまとめるとともに、関係者が一同に会した成果発表会を開きます。このことで、関係者間の情報の共有化も図ります。

概念図



平成22年度採択課題の例（平成22年度は一般枠16課題・連携枠3課題を採択しました）

活動地域	課題提案団体名	高等教育機関名（ゼミ名）	採択課題
七尾市	沢野ごぼう事業協同組合	金沢大学（宮本准教授）	七尾市沢野町の活性化について
金沢市	（独自提案）	北陸学院大学（田引専任講師）	内川地区周辺における学生のボランティア活動支援、及び地域社会を意識する人材の育成に関する調査研究
白山市	白峰雪だるまの里協議会	金沢工業大学（谷教授）	重要伝統的建造物群保存地区選定に向け、伝統的街並みを活かした白峰集落のまちづくり
津幡町	津幡町	石川工業高等専門学校（熊澤准教授）	地域における観光資源の活用
珠洲市	（独自提案）	代表：金沢大学（宇野客員教授） 連携：金沢美術工芸大学（川本教授）	持続可能社会を奥能登・珠洲のキリコ祭りで学び体験するツーリズムの企画と実施

地域貢献型学生プロジェクト事業（石川県委託事業）

県内の市町、各種団体をはじめとする地域から、学生と一緒に実施したい地域貢献型学生プロジェクトを募集し、高等教育機関の学生グループからも地域と一緒に実施したい地域貢献活動プロジェクトを募集します。

県内高等教育機関の学生の社会参加意欲と地域ニーズのマッチングにより、学生と地域住民の交流の促進を図り、地域の活性化を推進します。

また、各学生グループが実施した地域貢献型プロジェクト推進事業の活動紹介を行うとともに、活動を行う中でうかびあがった課題、これからの地域貢献型のあり方などについて、地域住民等とも意見交換を行います。

平成22年度採択課題の例（平成22年度は11課題を採択しました）

採択学生サークル等	地域活動のタイトル	活動地域	地域課題提案団体名
地域ブランディング研究会（金沢大学法学類公認サークル）	地域と大学生の「金蔵ブランド」立ち上げによる地域活性化	輪島市	輪島市町野町金蔵 OR NPOやすらぎの里 金蔵学校
東四柳ゼミナール（金沢学院大学）	能登町柳田地区における歴史・文化遺産の再発見と活用	能登町	能登町教育委員会
学生援農隊あぐり（石川県立大学）	大学生の能登地域における民俗行事参加による地域活性化効果	七尾市	どぼんこ・さるたひこ地域協議会
安藤ゼミナール（星稜女子短期大学）	女学生に人気の居酒屋メニュー開発で地域もお店もWinWin	七尾市	七尾市
三浦ゼミ（金城大学短期大学部幼児教育学科）	「山のじいちゃん・ばあちゃん」世代間交流事業	白山市	白山市
CirKit（サーキット）プロジェクト（金沢工業大学）	ITをツールとした地域コミュニケーションの活性化と店舗の活性化	野々市町	（独自提案）

まちなかキャンパス事業――
文化施設利用とフィールドワーク支援

大学コンソーシアム石川では、「金沢・いしかわまちなかキャンパス事業」として、2つの助成金交付事業を行っています。

加盟高等教育機関開講科目の文化施設利用支援

加盟高等教育機関の開講授業で、金沢市または石川県内にある歴史・文化施設等を利用するものに対し、その**入館料を助成する事業**です。**1件で最高1万円まで助成**しますが（平成22年度の場合。23年度も同額の予定）、予算がなくなり次第、終了となります。

本支援を受けることを希望する授業の担当教員は、利用日の2週間前までに「利用申請書」を、各機関の学務等を通して大学コンソーシアム石川事務局に提出します。これを大学コンソーシアム石川の教務学生専門部会で審査・決定し、通知します。使用後、利用報告書と領収書を提出すると、使用額が指定口座に振り込まれます。

シティカレッジ開講科目のフィールドワーク支援

シティカレッジ開講科目のうち石川県内でフィールドワークを行う授業科目を対象とします。助成の対象となるのは、消耗品費、通信費、入館料、保険料、謝金、バス借上料、会場借上料、などです。平成22年度は1件15万円で2件助成しました。（平成23年度は未定）

希望する授業は、期日までに「提案書」を提出します。これを教務学生専門部会で審議・決定し、採否を通知します。助成金は、原則前金で渡され、フィールドワーク完了後に報告書（領収書など支払いのわかるものを添付）と実施概要を提出します。

6 学生たちのための事業 ―シティカレッジ・公開講座・その他

大学コンソーシアム石川では、加盟高等教育機関の学生を対象としたさまざまな事業を行っています。

「**シティカレッジ単位互換事業**」は、金沢のまちなかで加盟高等教育機関の授業を開講し、その単位を各機関が自らの大学の単位として認めあうものです。主な開講場所は、しいのき迎賓館セミナールームおよび四高記念文化交流館多目的利用室ですが（これらを総称して「いしかわシティカレッジ」と呼びます。）、一部授業科目は加盟高等教育機関のキャンパスで開かれます。毎年90科目ほどの授業が開講されます。**加盟高等教育機関の学生は無料です。**（授業科目によって演習・実習費が必要になる場合があります。）

「いしかわシティカレッジ」の開講科目・開講時間は、大学コンソーシアム石川のホームページ＞いしかわシティカレッジ＞開講科目 で確認することができます。また、開講科目一覧の冊子が各高等教育機関に配布されています。

公開講座「いしかわ学」（石川県委託事業）は、石川県の伝統、文化、自然、人々の暮らしなどに関する複数の講座を、社会人・大学生向けに開講するものです。毎年、9月～10月に開講します。受講料は無料です（平成22年度）。

このほかにも公開講座が開かれることがあります。チラシの配布やメールでの連絡がありますので、ぜひ学生たちに紹介してください。

そのほかにも学生向けのさまざまな事業が行われています。
以下、それらを紹介します。

新入生はまちなかの文化施設が無料になります

平成２２年度、大学コンソーシアム石川は、「迎賓館周辺文化施設の学生パスポート」を、加盟高等教育機関の新入生に配布しました。これは石川県の補助金事業で、この配布されたパスポートを見せれば、４月～９月の半年間、金沢中心部の文化施設の入場料が無料になりました。

平成２３年度は、「**兼六園周辺文化施設の学生パスポート**」と名前を変えて配布される予定で、無料期間も１年間になる予定です。

いしかわCGコンテスト

「**いしかわコンピュータグラフィックス（CG）コンテスト**」は、2003年より、次代を担う青少年のコンピュータ技術の向上と情報教育の振興を図るため、石川県内の高校、高専、短大、大学、専門学校の生徒・学生を対象に開催しています。毎年、夏ごろに応募要項が出され、10月半ば締め切り、11月半ばに結果発表があります。いままで、応募資格は高校生部門と大学・専門学校部門に、作品は静止画の部と動画の部に分かれて、募集されています。入賞者には、賞状と賞品が贈られます。

大学生・専門学校生
（静止画）部門
最優秀賞

「金沢春夏秋冬」

上乗 まりな

金城大学短期大学部
美術学科2年

インターンシップ直前講座／学生・企業まちなかサロン

大学コンソーシアム石川では、加盟高等教育機関学生のキャリア形成を支援する事業も行っています。

インターンシップ直前講座

「**インターンシップ直前講座**」は、ジョブカフェ石川と連携して開講される、就職活動期を目前に控えた在学生を対象に、インターンシップへの導入部分と、基本的なビジネスマナーや心構えについて学ぶ講座です。

毎年、7月末～8月初めごろに開かれます。**受講は無料です。**

学生・企業まちなかサロン

「**学生・企業まちなかサロン**」は、学生と県内の企業経営者が身近に語り合う教育の場です。学生は県内の産業の魅力や、それを取り巻く環境を知り、多様な職業観にふれることができます。そして、自身のキャリア形成を図る上で大学生活をいかに送るべきかを考えることを目的としています。

毎年、8～9月ごろに開催されます。**受講は無料です。**

※このほか、「県内企業の紹介」を大学コンソーシアム石川ホームページ及びUCIポータルに載せる予定です。

大学コンソーシアム石川会員一覧

●高等教育機関〈20機関〉

金沢大学
石川県立看護大学
金沢工業大学
北陸大学
北陸学院大学
北陸学院大学短期大学部
星稜女子短期大学
石川工業高等専門学校
北陸先端科学技術大学院大学
石川県立大学
金沢星稜大学
金沢学院大学
放送大学
金城大学短期大学部
小松短期大学
金沢工業高等専門学校
金沢美術工芸大学
金沢医科大学
金城大学
金沢学院短期大学

●自治体〈20団体〉

石川県
白山市
内灘町
加賀市
宝達志水町
金沢市
能美市
七尾市
羽咋市
中能登町
小松市
野々市町
輪島市
川北町
穴水町
かほく市
津幡町
珠洲市
志賀町
能登町

●関係団体〈13団体〉

石川県商工会議所連合会
(社)石川県経営者協会
(社)金沢経済同友会
(社)石川県繊維協会
(社)石川県食品協会
石川県酒造組合連合会
石川県商工会連合会
石川県中小企業団体中央会
(社)石川県鉄工機電協会
(社)石川県建設業協会
(社)石川県情報システム工業会
(社)金沢青年会議所

★国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット

本利用ガイドは、文部科学省戦略的大学連携支援事業採択プログラム「大学コンソーシアム石川を中心とした共通の教養教育機構とICT教育支援体制の構築」(代表校:金沢大学、平成20～22年度)の一環として作成したものです。

Memo

University Consortium Ishikawa

一般社団法人 **大学コンソーシアム石川**

〒920-0962 金沢市広坂2丁目1番1号（石川県政記念しいのき迎賓館3階）

TEL 076-223-1633　FAX 076-223-1644

E-mail　info@ucon-i.jp

UEL　http://www.ucon-i.jp